

脳血管性認知症を知ろう

脳血管性認知症とは？

脳血管性認知症とは、脳卒中(脳出血・脳梗塞・くも膜下出血)によって、脳内の神経組織が破壊され、そのことが要因となって現れる認知症のことを指します。

《症状の進み方》

脳卒中によって認知症状が現れ、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら進行していきます。脳卒中が起こるたびに症状も進行していきます。脳内の血管に詰まってしまうと、一気に認知症状が進むことがあります。



《失われる力》(認知機能障害)

- ・物忘れや判断力の低下が見られても、知識は維持されていることもあります。
- ・お箸等の使い方が分からないことがあります。



- ・涙もろくなったり、怒ったりしやすくない、意欲の低下が見られることがあります。
- ・物の名前が分かっているのに、口に出そうとすると言葉が出てこないことがあります。